



発行日:令和6年3月1日(金)

発行元:上尾市立南中学校長 廣 美穂

TEL:048-781-2299

メール:s739000@city-ageo.ed.jp

「浸透」

校長 廣 美穂

2月は、気温が高かったり、一気に冷え込み大雪になったりと寒暖差を大きく感じる月でした。その気温変化の中、春を告げる「梅」の花が昇降口脇に咲き始めました。梅の柔らかいピンク色を見ると、春が来たなああと心が躍る思いになります。ご存知のとおり、梅は、大変縁起がよい植物といわれています。その一つの理由として、どの花よりもいち早くきれいに咲き誇るため、厳しかった冬が終わり、明るい春がすぐそこまで来ている証。だから、どんな困難も素早く通り過ぎ、明るく大きな喜びがやってくるのだという思いがあるからだと思います。また、夢占いによると、「梅の夢」は『運氣上昇』の兆し、「梅の木」は、『満足感、充実感』を意味するそうです。私はすぐに寝てしまうので、最近夢を見ていないような…。いつか梅の夢を見たいなあと思ってしまいました。

さて、今年度当初、一年間のキャッチフレーズとして「浸透(instill)」を掲げてまいりました。生徒達には、2月の校長講話で2つの振り返りをしてほしいことを提示しました。「決めたことをやり切る」「南中の軸をしっかりと根付かせる」です。学校としては、学校課題研究として取り組んだ「特別支援教育の視点に立った授業展開と環境整備」を一年間やり通しました。課題はあるものの生徒が落ち着いて授業に臨んでいる姿や各学力・学習状況調査等の結果を鑑みると浸透できていると感じることができました。

また、地域や外部の方から温かいお言葉を頂戴しました。乗っていた自転車が線路に挟まり動かなくなった様子を見て、一緒に踏切の外へ押し出してくれた生徒のことを連絡くださった方、下校中の生徒たちに「おかえりなさい」と挨拶をしたところ、一人一人が大きな声で「こんにちは。帰りました。」と応えてくれ驚いたとともに、学校生活が楽しいことが伺え一日の疲れを忘れるほど元気な気分になったと手紙を送ってくださった方、周年行事で飛ばした風船の一つがテニスコートに着陸。その風船についていた手紙の返事をそっと返してくれた生徒の行動に感動して手紙をくださった県内の小学校の校長先生。厳しいお言葉をいただくこともございますが、学校では見えない「じりつ」している生徒の姿を連絡いただくと、心がほっとなり、何よりも嬉しいプレゼントとなりました。お伝えくださった方には、この場をお借りして御礼を申し上げます。

いよいよ3月15日には、5年ぶりに卒業生、在校生、保護者、来賓を迎え、総勢約710名の卒業証書授与式を予定しております。卒業する3年生は南中を巣立つ集大成の姿を、在校生は祝福する姿を伝え合い、伝承できる場となる式を創り上げてまいります。また、3月26日をもって今年度の教育活動が修了となります。保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。来年度も「チーム南中」として、子供たちが「社会を生き抜く力」の育成を皆様とともに行っていきたく思っております。今後ご支援ご協力をお願いいたします。



南中校章と梅の木 (2月下旬撮影)

令和6年4月1日より本校に特別支援学級2クラスが新設されます。南校舎2階南側のフロア(正門側)が活動場所となります。

名称を「はばたき学級」としました。校歌の最後「いつか私たちもはばたく南南上尾南中」と謳われていること、校章の両サイドについている翼が大空にはばたく南中学校発展の姿をモチーフとしたことを受け、命名しました。現在、教室設置に係る工事が終了し大変きれいな教室と作業室が完成しました。今後、さらに生徒の受け入れの環境準備をしていきます。

★令和6年度の学級数について(令和6年3月1日現在)

1学年:4クラス 2学年:4クラス 3学年:4クラス 特別支援学級:2クラス 計14クラス

3月の予定（完全下校17：30）

日	曜	行事予定	部活動
1	金	県公立高校入学許可候補者発表 金⑥⑤④③	○
2	土		—
3	日		—
4	月	県公立高校追検査 月①②③⑤	×
5	火	火⑥⑤④③ 緑化運動 14:00~15:00	○
6	水	県公立高校追検査入学許可候補者発表 水①②⑤⑥	○
7	木	木①②③⑥ 命の講演会（全学年）	○
8	金	水②③④ 3年生と語る会 4h 3年生を送る会 5, 6h	○
9	土		—
10	日		—
11	月	月⑤④③②	○
12	火	火⑤⑥①② 第11回中央委員会	○
13	水	木①+卒業証書授与式予行 2~4h	○
14	木	水⑤⑥木④⑤+卒業証書授与式前日準備	○
15	金	第45回卒業証書授与式	×
16	土	3年臨時休業（~26日）	—
17	日		—
18	月	水③④金④⑤ 第11回専門委員会	×
19	火	給食終了日 1, 2年保護者会⑤ 第5回学校運営協議会 10:00 第2回学校安全パトロール会議 15:30	×
20	水	春分の日	×
21	木	金①（清掃→帰りの会→部活動）完全下校 12:30	○
22	金	金②（清掃→帰りの会→部活動）完全下校 12:30	○
23	土		—
24	日		—
25	月	学年集会、大掃除	※
26	火	修了式	×
27	水		—
28	木	新入生体育着受取 9:00~ 12:00（正門付近）	—
29	金		—
30	土		—
31	日		—

★4月の完全下校18：00

4月の主な行事予定

- 8（月）着任式、始業式、入学式
- 9（火）対面式・新入生歓迎会
- 10（水）給食開始
- 15（月）授業参観・学級懇談会（全学年）
- 26（金）第1回学校運営協議会

新入生中学校見学会を行いました！

2月14日（水）、本校にて新入生中学校見学会を行いました。来年度、本校に入学する児童たちは、真剣な眼差しで授業を見学しました。4月の入学を楽しみにしています。



学校運営委員会より1年間を振り返り

学校運営協議会会長の加藤義隆様より1年間を振り返り、コメントをいただきました。

（以下内容）

学校運営協議会では、学校長が掲げる学校運営の基本方針を承認するとともに、南中学校が行ってる開かれた学校づくり、地域に根差した学校教育活動を応援し、先生方にとって仕事がしやすく、生徒たちの活動の場があり、学校を中心としたコミュニティができるよう活動しています。本年度は、上尾市が進める先生方の働き方改革について意見交換を行ってきました。また、学校と共に取り組んだチャレンジスクールでは、保護者、卒業生、地域の方の協力で、年2回開催することができました。生徒たちに勉強を教えられるか不安でしたが、生徒たちと接するうちに、このような交流の機会はとても大切だと改めて実感することができました。今後も継続していきたいと考えていますので、是非、皆様の協力をお願いしたいと思います。



※令和5年度の学校評価のまとめを以下の通り、本校HPに掲載しました。ご覧下さい。
アンケートのご協力ありがとうございました。

令和5年度 上尾市立南中学校 学校評価

1 実施時期

(1) 自己評価

令和5年12月

(2) 学校関係者評価

令和6年1月26日

2 実施内容

(1) 自己評価

ア 自己評価の項目を肯定的評価からA・B・C・Dの記号を選択

イ 参考として、生徒アンケートを実施し、その項目を肯定的評価から4・3・2・1の数値を選択

ウ 参考として、保護者アンケートを実施し、その項目を肯定的評価から4・3・2・1の数値を選択

(2) 学校関係者評価委員会を開催

自己評価及び事前の生徒アンケート、保護者アンケートの結果を学校関係者評価委員会で説明を行った。自己評価における課題、改善策等を提案した上で、学校関係者評価委員からご意見・ご感想をいただいた。構成委員は、聖学院大学准教授、元PTA顧問、大谷本郷自治会長、上尾市人権擁護委員、学校応援コーディネーター、PTA会長、鴨川小PTA会長、住友理工株式会社員の8名である。

3 公表方法

HPでの公表

4 成果

《自己評価の結果》

(単位%)

	評価項目	3, 4 割合		評価項目	3, 4 割合
1	学校教育目標と学年・学級目標	85	18	ユニバーサルデザイン	100
2	学級目標の達成	85	19	道徳教育	90
3	豊かな人間性育成	85	20	「チーム南」として	80
4	たくましい心身の育成	80	21	生徒との向き合い	95
5	考え・学び合う力の育成	95	22	危機管理	95
6	基礎学力の定着	85	23	学習環境	95
7	学力調査分析	60	24	校内巡回	70
8	ICT の活用授業	65	25	校舎内外の整理整頓	95
9	学習形態の工夫	95	26	下校指導	90
10	問題解決的な学習	75	27	ヘルメット着用	90
11	自立・自律の指導	95	28	接遇	85
12	規律ある態度の指導	100	29	学校だより、学級通信、HP	50
13	時間を守る生徒の育成	95	30	高校や専門機関との連携	80
14	自問清掃	90	31	SDGs の視点を生かしたボランティア	95
15	落ち着いた学校	95	32	地域との連携	70
16	自己研修	75	33	勤務時間の意識	80
17	校内研修	95	34	働き方改革	30

3, 4 の合計で 80%以上の評価項目は、34 項目中 26 項目である。

5 今後の課題と改善策

	課 題	主 な 改 善 策
1	⑦学力調査の結果分析を生かした学力向上プランの策定と実行の関連性が低い。	定期的に教科会で進捗状況を確認、修正をしていく。学力調査実施教科以外については、身に付けるべき力を決め、教科会で進捗状況を確認する。
2	⑧ICT の活用率が低い。	朝の連絡方法を ICT を活用して行う。4 月から生徒が学校生活や家庭で chromebook を積極的に使用できる方法に変更する。
3	⑭業務量が変わらない。	授業については、年間総時間数を必要に応じて精選していく。また、放課後の事務作業時間を確保し勤務時間を短縮していく。

6 学校関係者評価委員の意見・感想等

(1) 意見・感想等

【意見】

- ・先生たちの働き方改革について、地域としての対応を検討する必要がある。
(例. ボランティアの依頼等)
- ・働き方改革のために部活動の時間を短くしているが、子供はもっとやりたいと言っているのではないか。
- ・自己評価項目をあらかじめ HP 等で保護者に周知した方がいい。
- ・自己評価項目を学校運営協議会で協議した方がいい。

【感想】

- ・校長をはじめ、諸先生方の努力がしっかり反映された結果だと思う。

(2) 評価

- ・本校の学校評価は妥当である。